

## 寄付の使い道

～いただいた寄付金はさまざまな取り組みに活用されています！～

### ファミリーサポートセンター事業

育児の援助を受けたい「おねがい会員」と育児の援助を行いたい「まかせて会員」の育児の相互援助を支援しています。子育て支援に興味のある人や子育ての経験を地域のために生かしたい人のために、まかせて会員養成講座を開催しています。



### 給付型奨学金の支給

意欲ある学生たちが自らの能力や適性にあった進路を自由に選択し、夢の実現に専念できるよう社会に貢献する人材の育成を図ることを目的として、対象者へ月額5万円を支給しています。



### アダプティブラーニング<sup>※</sup>教材などの整備

一人ひとりに最適な学習内容を提供して、協働的な学びや探究的な学びを充実させるために、子どもたちが使うタブレット端末や学習アプリケーションなどを



支給しています。学習者それぞれに合った、細かな学習指導が可能となっています。

※アダプティブラーニングとは…学習者一人ひとりに最適化された学習内容を提供すること

### 紫雲出山の桜の保全に向けた取り組み

桜の名所である紫雲出山。植樹から70年以上が経過し、桜の老木化や病気による衰弱などが大きな問題になっています。このような状況から桜を守り、紫雲出山に今後も桜が咲き続けるように、保全に向けた取り組みを進めています。



## 自治体クラウドファンディングに 取り組みました!!

ふるさと納税の制度を利用し、特定の使い道に対し寄付を募集する仕組みが自治体クラウドファンディングです。令和3年度は「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」のうち、天然芝の整備への活用を目的に寄付を募りました。

寄付件数 117件 寄付実績 1,639,000円



▲宝山湖公園完成イメージ

## お盆に帰省されたご家族やご友人にぜひおすすめしてください!

### ①パソコン、スマートフォンでのお申し込み

QRコードからアクセスして、それぞれのサイトからお礼品を選択してお申し込みください。

### ②郵送でのお申し込み

財政経営課までご連絡ください。寄付申込書と専用の郵便振替用紙をお送りします。

▶問い合わせ 財政経営課 ☎73-3010

### 寄付サイトのQRコード



▲さとふる



▲ふるなび



▲さとふるさと  
チョイス



▲楽天  
ふるさと納税

※総務省の基準により、三豊市にお住いの人が三豊市に寄付をした場合、お礼の品はお送りできません。

令和3年度

# 三豊市ふるさと納税& 企業版ふるさと納税の ご報告

あたたかいご支援をありがとうございます

「ふるさと納税」は生まれ育ったふるさとや関わりのある自治体に寄付をすると税金の控除を受けることができる制度です。これまでの個人からの寄付に加え、令和3年度からは企業や団体などの法人が対象となる「企業版ふるさと納税」で寄付の受け入れを始めました。

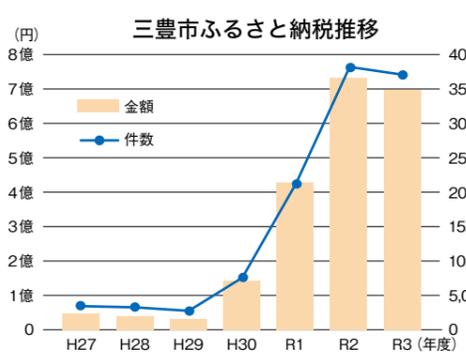


**個人からの寄付は  
7億4千万円超**

個人が対象となる「ふるさと納税」は、令和3年度も引き続き多くのあたたかいご支援をいただきました。寄付件数で約3万4千件、総額およそ7億4千万円を超える寄付金が東京・大阪などの都市部をはじめ、全国から寄せられました。

寄付をする際は、寄付金の使い道を選ぶことができます。最も希望が多いのが「ふるさと納税」で、教育、子育てに関する事業で、約1万1千件の寄付が集まりました。その他にも「ふるさと納税」に自然環境保全に関する事業に約3,600件、「ふるさと納税」に父母のための福祉に関する事業に約9,700件、「ふるさと納税」にスポーツ・文化振興に関する事業に約5,000件、「ふるさと納税」ににぎわい創出に関する事業に約4,600件、そして「ふるさと納税」にふるさと応援事業（市長が必要と認める事業）に約17,000件を超える寄付が集まりました。

集まった寄付金は、それぞれの使い道に関わりがある事業に使われます。令和3年度は40を超える事業に寄付金が活用されました。



**人気のお礼品は  
三豊産フルーツ!**

**新しいお礼品も登場**

市のお礼品で人気が高いのは、フルーツやオリブ牛を中心とした農産品。その中でも、いちご、桃、シャインマスカットなど複数の果物を1度の寄付で申し込める「フルーツ定期便」は手軽さから不動の人気を誇るお礼品となっています。また令和3年度からは市内の工場で製造されているウェットティッシュやアルコールスプレー、ティッシュペーパーなども登場しました。こうした日用品は、季節を問わず1年中選ばれるお礼品として注目を集めています。

### 寄付による 企業のメリット

- 1 SDGsの達成など、社会貢献に取り組むことをPRできる
- 2 法人関係税額が最大9割軽減
- 3 三豊市との新たなパートナーシップの構築

**法人からの寄付は  
2億2千万円超**

自治体を実施する地方創生の取り組みに対し、市外に本社がある法人が寄付をした場合に法人関係税から税額控除される制度が「企業版ふるさと納税」です。企業にとっては社会貢献活動に取り組みでいることでイメージアップにもつながるとして、近年注目が集まっています。

市では令和3年度に「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に対し寄付を募集し、19社からおおよそ2億2千万円を超えるご支援をいただきました。集まった寄付金は主にグラウンド整備に活用するほか、プロジェクトの地方創生の取り組みにも活用される予定です。